

横浜国大剣友会 幹事会 議事録

作成：丸尾

日時：2017年1月21日(土)

場所：北の味紀行と地酒 北海道 横浜スカイビル店

出席者：蔵原先輩、種子島先輩、幡野先輩、岩城先輩、石川先輩、栗本先輩、有竹先輩、
樺山先輩、丸尾

■議事内容

◎50周年記念総会開催要項について

(事前準備)

- ・ 総会案内送付先は国大学長、剣道部長、横浜市大は必須。他は過去の周年行事を調べて決める。

(第1部)

- ・ 体育館1階アリーナは学生にて確保済み。
- ・ 剣道形の演者は座間先輩、高橋先輩で調整。
- ・ OB 対抗戦は紅白戦で実施。「勝ち抜き」はなし。45周年は勝ち抜き紅白戦で時間が読めなかった。
- ・ 交流稽古会は60分を予定。途中休憩は自由。
- ・ 重慶飯店への送迎バス出発時間は16:00頃に前倒しにする。稽古に参加しない者は早めに乗車。学生の移動は要検討。

(第2部)

- ・ テーブルは学年ごと。隣接のテーブルも近い世代とする。
- ・ 会長挨拶、乾杯と表彰の間には少し時間を空ける。
- ・ 表彰該当者について再度検討。表彰の基準を明確にすることが必須(会費納入実績?稽古参加数?剣道継続の有無?)。次回幹事会までに表彰の基準案を提示する。
- ・ 学生戦績報告は過去5年分を発表。直近1年は現役主務、過去分は主務経験OBが担当?長くダラダラしないようにする。パワポのスライドを利用する。
- ・ OB 懇親企画は各学年から集めた写真をスライドで流しながらスピーチ。
- ・ 基金と併せて写真(データ、プリント)を集めることとする。35周年で作成したような会誌を今から作成することは難しい。写真を集めてスライド、フォトブック、クラウド共有など活用する。写真だけプールしていけば今後5年ごとに写真集を作成することは容易。写真が集まった段階で写真集の構成も考える必要あり。
- ・ 学生への記念品はiPadが有力。今のビデオカメラは故障。試合を動画で撮りすぐに

YouTube にあげられる。他の候補としてビデオカメラ、打ち込み台。iPad2 台分の予算を組み、まずは iPad1 台購入、様子を見て他候補を検討する。

- 太鼓の状態は問題なし。皮の張り替えだけならそこまでコストがかからないか。合宿等で使えるようハンディサイズの太鼓の脚が欲しい。今後の記念品として検討の余地。
- 総会参加記念品は手ぬぐい。デザインは大学の校章（3 種？）を中心に置き、白時に黒。宮部会長にも要相談。横浜防具では、版下 ¥18,000 + 1 本 ¥560 + 熨斗。300 本程度作成か。

◎基金について

- 周囲への呼びかけの前にまずは幹事自らが相応の金額を振り込むべきである。
- 50 周年記念総会に参加する人 = 基金に賛同してくれる人。毎回総会に参加している人へ働きかけが有効か。
- 今後の課題(1) 基金に協力してくれた人の記録をどう残していくのか。会員にどう通知していくのか。総会のスライドで紹介、HP に掲載、周年行事時に作成する写真集に掲載していく等。
- 今後の課題(2) 基金の仕組みをどう発展させていくのか。今回支払わなかった人、卒業生にも支払わせていくような、基金を拡大させていくための仕組み作り。